

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に、寄附金の6割を法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による通常の寄付の軽減効果(寄附額の約3割)を含め、寄附額の最大約9割の軽減効果があります。

※江府町外に本社がある企業が対象です。

※10万円以上の寄付が対象です。

※寄付をすることの見返りとして経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業の
メリット

寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら
地方創生やSDGsの応援ができます！

寄付の流れ



企業様のご意向に沿って、寄付対象事業の決定を行います。まずはお気軽にお問合せください。

寄付金を払込いただくため、納付書を発行いたします。

寄付受領証発行後、税申告のお手続きをお願いいたします。

問い合わせ先

江府町役場総務課 ふるさとデザイン室 担当 ひらばやし

〒689-4401 鳥取県日野郡江府町江尾1717-1

TEL / 0859-75-2211 MAIL / furusatod@town-kofu.jp

江府町

企業版 ふるさと納税の ごあんない

江府町の主な地方創生プロジェクト(寄付対象事業)

※掲載事業は一例です。その他の対象事業も受け付けています。

1. 奥大山の自然から学ぶ環境教育の実践



「富良野自然塾」との連携により、奥大山の自然環境を活かした環境教育の場をつくります。

2021年11月、環境イベントとして「富良野自然塾in奥大山」を開催しました。その次のステップとして、環境教育の実践の場(仮称:奥大山自然塾)を新たに整えたいと考えています。

SDGs推進の取り組みの中で、水資源や豊かな自然の保全を図るとともに、それらのフィールドの上での環境教育の実践により、持続可能な社会の実現を目指します。



2. 木谷沢溪流(きたにざわけいりゅう)の環境整備



奥大山のキーワードは「水」と「ブナ」。その象徴である溪流エリア(木谷沢溪流)周辺の環境保全を進めます。

水と緑の象徴とも言える木谷沢溪流。その周辺の状況を改めて調査するとともに、保全のためのルールづくりや環境教育の推進等を通して、奥大山のもつ自然の魅力を次世代へしっかりと伝えていくための活動を行っていきます。

- ・ 利活用と保全に関する調査
- ・ 環境保全のためのルールづくり
- ・ 環境学習の推進
- ・ 持続可能なかたちでの周辺整備 など



3. 水資源活用 マイクロ水力発電の実証実験



環境負荷の少ない自然エネルギー(水資源)の利活用検討のため、「マイクロ水力発電」の実証実験を行います。

奥大山エリアは天然水の採水地として有名であり、豊富な水資源を誇ります。その流水による自然エネルギーに着目し、「マイクロ水力発電」(小水力発電)の実証試験を行い、データを取得するとともに、地域での導入に向けた検討を行います。



その他プロジェクトについて

江府町は、令和4年5月30日に、「水のふるさと奥大山SDGs宣言」を行いました。特に下記の2点を取り組みの柱とし、活力ある地域社会の持続を目指していきます。

- ◆ 美しい環境を守り、清らかな水を育む活動(環境保全など)
- ◆ 誰一人取り残さないまちづくり(デジタル化の推進など)

SDGs推進のため、様々な施策を検討しています。ぜひお気軽にお問い合わせください。

